

2015.10.7 第10回川越市総合計画審議会

資料10-1-②

## 第四次川越市総合計画

川越市総合計画審議会 意見反映(案)

《第9回審議会分》

◆第四次川越市総合計画 審議会意見反映(案) 《第9回審議会分》

番号	意見要旨	資料 9-1 ページ	反映箇所(案)	反映内容(案)	反映理由
1	農地、樹林地、集落地について、「保全に努める」と記載してあるが、米作の場合、後継者がいなく、保全することが難しい現状がある。「保全に努め」という表現は変えたほうが良いという感じがする。 宅地化された場所では雑排水と農業用排水の分離が難しい。保水能力が弱まっており、大雨が降ると農地や住宅が水に浸ってしまう。	6ページ	土地利用 (3)土地利用 の方向性 (農業)	農地や樹林地の保全に努め、 <b>営農の環境</b> や集落の生活環境 の向上に努めます。	農地保全に関する表現はそのままとし、農業振興施策の充実により、農業経営の改善を図ることによって、農地を保全する視点から、「営農の環境」の向上を追加する。
2	農業については、人・農地プランや農地中間管理機構など、色々な動きがある。 人・農地プランに基づき、名細地区では新たにほ場整備も行っている。 集落の農業の意欲を削ぐような表現は入れず、農地保全の表現を残しておいた方がよい。	6ページ	土地利用 (3)土地利用 の方向性 (農業)	農地や樹林地の保全に努め、 <b>営農の環境</b> や集落の生活環境 の向上に努めます。	農地保全に関する表現はそのままとし、農業振興施策の充実により、農業経営の改善を図ることによって、農地を保全する視点から、「営農の環境」の向上を追加する。
3	土地利用計画図に記載されている土地利用想定箇所について、文章で説明は入らないのか。	7ページ	土地利用(土 地利用計画 図)	<b>周辺環境との調和を図りながら、地区の特性に応じた土地利用に努めようとする箇所</b>	文章での説明が必要と考え、「周辺環境との調和を図りながら、地区の特性に応じた土地利用に努めようとする箇所」を脚注に記載する。
4	主要幹線道路について、整備されているのかなのか、整備計画があるのかなのか、おおよそで分かりにくい。 整備済の主要幹線道路は実線で描き、計画はあるが未整備ものについては点線で示すなど、分かりやすくすべき。	7ページ	土地利用(土 地利用計画 図)	土地利用計画図を修正する。	土地利用計画図にある主要幹線道路について、実線や点線などを使い、分かりやすくするように工夫する。

◆第四次川越市総合計画 審議会意見反映(案) <第9回審議会分>

番号	意見要旨	資料 9-1 ページ	反映箇所(案)	反映内容(案)	反映理由
5	8ページに「農業従事者の高齢化と担い手不足による耕作放棄地の増加が懸念されています。」とあるが、これはすでに問題になっている。 政府は耕作放棄地に増税をしようとしているが、耕作しやすい土地には借り手があるが、借り手がない土地には増税となる。高齢となると耕作もできず、市で農地の基盤整備について考えてほしい。 全てが水田地域ならほ場整備できるが、ハウスや畑があるところは大きく整備できない。仙波地域は市街化区域もあるため、将来的に宅地化することを期待し、農地を手放さない人もいる。	8ページ	産業 (農業)	農業従事者の高齢化と担い手不足による耕作放棄地の増加が課題となっています。	耕作放棄地の増加等について、課題認識を明確にするために、「懸念されています。」を「課題となっています。」に変更する。
6	9ページ3段落目の「影響は～縮小などをもたらしています。」の文章表現がおかしい。「出店が～縮小など、本市に影響を及ぼしている。」としたらどうか。	9ページ	産業 (商業)	圏央道の延伸や周辺道路網の整備による交通利便性の向上、周辺市町での大規模店舗の出店などが、流通構造の変化や川越商圈の縮小などといった影響をもたらしている。	主語、述語の関係を明確にするため変更した。
7	9ページ、商業のデータの数値について、さいたま市の年間商品販売額が第三次総合計画のときと比較し大きくなっている。	9ページ	産業 (商業)	4兆6,436億円	数値に誤りがあったため、4兆6,436億円に訂正する。
8	14ページ、17ページのグラフが一部見切れている。	14,17 ページ	財政状況見直し	見切れたグラフを修正する。	修正する。

◆第四次川越市総合計画 審議会意見反映(案) <<第9回審議会分>>

番号	意見要旨	資料 9-1 ページ	反映箇所(案)	反映内容(案)	反映理由
9	<p>「経常収支比率」と「公債費負担比率」の2つの指標のみで市の状況を表そうとした理由について。 また、多くの市民に分かりにくいと思うので、他市と比較できるようにしたらどうか。</p>	17 ページ	財政状況見直し	グラフに他市との比較が分かるように記載する。	<p>経常収支比率で、財政の硬直化を具体的に表すべきと考える。公債費負担比率は後年度の負担に大きな影響のある視点として2つを採用した。 他市との比較は分かりやすくなるように行う。</p>